

独立行政法人 労働健康福祉機構



秋田労災病院

～地域医療連携室だより～



Vol.

22

2015.7 発行



地域医療連携室のご案内

当院では、紹介患者の受付と院内各部署との連絡調整、他の医療機関との連絡と情報交換などを中心に、病診・病病連携の充実をはかっております。中でも、紹介元医療機関から予め患者情報を入手し、受診すべき診療科・医師とスケジュール調整をする紹介システムを導入しております。

もくじ

- | | | | |
|---------------|---|---------------------|---|
| ●秋田労災病院長あいさつ | 2 | ●回復期リハビリテーション病棟のご案内 | 3 |
| ●地域医療連携室長あいさつ | 2 | ●外来診療のご案内 | 4 |

発行にあたってのご挨拶



院長
多治見 公高

この度、秋田労災病院「地域連携室だより」の発行にあたり、地域の医療関係者と住民の皆様へご挨拶させていただきます。

病院と診療所あるいは病院と病院との連携の推進が提唱されてからずいぶん時間が経過しました。その間、医療機関はそれぞれの立場で連携推進、強化に努力して来ました。今年は、国策として、団塊の世代が75歳となる2025年に向け、地域のそれぞれの医療機関が機能分化し、その役割を明確にして、介護・福祉を含めての連携を再度確認をして、住民の意見も取り入れ、地域医療構想（ビジョン）を策定することが求められています。また、新しい専門医育成の制度や医療事故調査・支援センター制度のスタートも間近です。

社会保障と税の一体改革のなかで大きく医療制度改革が進みます。秋田労災病院においても、役割・使命（ミッション）を再定義し、病院機能をより明確にし、他の地域医療機関との機能分化を進め連携を再構築します。その上で、地域医療供給体制を構成する一機関として安全で安心な医療の供給に貢献していく所存です。

その理念の基、新たに2015年6月から秋田大学医学部大学院医学専攻総合診療・検査診断学講座教授廣川誠先生のご支援を頂き、新しい専門医制度における基本領域である「総合診療・検査診断科」外来を開設しました。

最後になりますが、今年の4月に病院のホームページをリニューアルしました。また、新たにフェイスブックのページも始めました。これらのインターネット・ツールを使い地域連携に必要な情報を発信していきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室長より



副院長
地域医療連携室長
塚本 文仁

久し振りの「地域医療連携室だより」発行となり、最近の地域医療連携室の利用状況につき御報告いたします。

平成24年度から昨年度までの3年間の当院への紹介患者総数およびそのうちの地域医療連携室経由の患者数は各々平成24年度743件中639件（86%）、平成25年度852件中621件（73%）、そして平成26年度は865件中507件（59%）と高率で推移しており、開設当初の平成16年度&17年度の10%前後に比し、明らかに増加しております。各医療機関にとって「地域医療連携室」の存在が既に十分認知され、またそのことにより患者様にとっての利便性の向上にもつながっているものと考えられます。

さて、紹介患者様の場合、紹介先への即日入院の希望も多くあり、これらのより細かい情報を書き込んでいただくため、今回、申込書に「要望事項」欄をもうけましたので、是非ご活用ください。

回復期リハビリテーション病棟のご案内

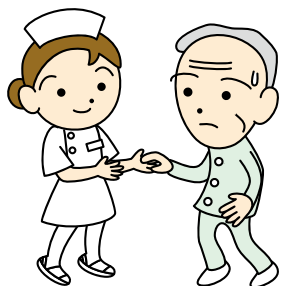
大きな病気や怪我をすると多くは「急性期病棟」と呼ばれる病棟で治療を受けることになります。しかし、この急性期病棟というところは、「命を助ける」ことが大きな目的となっているので生命の危機を脱すると、退院を勧められます。急性期病棟は、命の危機に瀕した患者さんを次々と受け入れ、命を救うことを使命としているためです。



しかし、多くの患者さんはこの時期はまだ心身へのダメージが大きく残り、元の生活にすぐ戻ることは困難です。退院を勧められたご家族のほうでも困ってしまう場合が多くみられます。このために「回復期リハビリテーション病棟」が誕生しました。この病棟は、命の危機を脱してもまだ医学的・心理的サポートが必要な時期の患者さんを対象に受け入れ、自然回復を促す環境をつくり、多くの医療専門職がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

Q 回復期リハビリテーション病棟では毎日どのような生活をおくれますか？

A 毎日の生活は、まず患者さんの病気の管理が基本となります。そのうえで、リハビリを行い家庭や社会へ復帰することを目的に、日常的な食事や歩行、排泄、入浴などの動作を改善するためのリハビリ・プログラム（総合実施計画）が組まれます。



回復期リハビリテーション病棟でこんな生活を目指しませんか！

1. 在宅復帰・社会復帰に向けてリハビリテーションを頑張りましょう。
2. 食事はできるだけ、お口から食べられるように取り組みましょう。
3. 洗面は洗面所で、毎食後に歯磨きをしましょう。
4. 排泄はできるだけトイレへ行きましょう。オムツは最小限の使用にしましょう。
5. 入浴は週2回以上、できるだけ浴槽に入りましょう。
6. ズックを履いて転ばない、安全対策を徹底しましょう。

回復期リハビリテーション病棟の詳細については、
医事課『医療相談室』(内線 2781)にお問い合わせください。

秋田労災病院外来診療のご案内

平成27年7月1日現在

受付時間	初診 8:15～11:00			再診 8:15～11:30	
曜日	月	火	水	木	金
診療科					
内科 [予約制]	佐々木	佐々木 熊谷	佐々木 熊谷	佐々木 熊谷	熊谷 秋田大学[～12時]
糖尿病・代謝内科 [予約制]	八代	八代	休診	八代	八代
内科(循環器) [予約制]	休診	休診	休診	診療応援医師	休診
呼吸器・アレルギー外来 [予約制]	診療応援医師	休診	診療応援医師	休診	休診
消化器科 [内視鏡検査予約制]	診療応援医師	休診	診療応援医師	休診	休診
総合診療・ 検査診断科	休診	秋田大学 [診療日は要確認]	休診	休診	休診
外科	塚本	塚本	阿部	塚本	阿部
皮膚科	休診	弘前大学	休診	休診	弘前大学
整形外科	千葉 奥山 [～10時] 木戸 関 佐々木 [10時～12時] 加茂	奥山 佐々木 (秋田大学)	木戸 佐藤 (秋田大学)	関 加茂 (秋田大学)	千葉 奥山 木戸 関 [～10時] 加茂 [10時～12時]
スポーツ外来 [予約制] [受付 14時～16時]	休診	休診	休診	休診	関
神経内科 [予約制] [受付 13時～15時]	休診	休診	休診	診療応援医師 [13時30分～]	休診
脳神経外科	神里	井上	井上	神里	秋田大学
泌尿器科 [予約制]	休診	弘前大学	休診	秋田大学	休診
眼科 [予約制]	休診	休診	診療応援医師	休診	休診
耳鼻咽喉科	休診	休診	休診	秋田大学[～12時]	休診
歯科口腔外科	大淵	大淵	大淵	大淵	秋田大学

◎ 診療日等、都合により変更する場合があります。

※ 整形外科千葉副院長の診療は不定期になる場合があります。あらかじめご了承ください。

～秋田労災病院の理念～

当院は、勤労者や地域の人々の健康増進と疾病の予防・治療に取り組み、患者様の人権を尊重し、あたたかく、思いやりのある安全な医療を提供します。

『治療就労両立支援部』とは…

当院では脳卒中の**治療・リハビリ**と就労（職場復帰）の両側面から患者様を支援させていただきま。患者様のサポートは、**復職コーディネーター**が中心となって医師・看護師・リハビリスタッフ等で構成された**両立支援チーム**が協働で関わっていく部署です。

お問い合わせ先

独立行政法人労働者健康福祉機構

秋田労災病院 地域医療連携室

〒018-5604 秋田県大館市軽井沢字下岱30

TEL 0186(52)3131(内線2782) / FAX 0186(47)7611

診療科目

内科、糖尿病・代謝内科、消化器科、総合診療・検査診断科、外科、整形外科、神経内科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、健康診断部、勤労者脊椎・腰痛センター、治療就労両立支援部

当院HP <http://www.akitah.rofuku.go.jp>

当院facebook <https://www.facebook.com/AkitaRosai>